給与支払報告書の書き方

特に注意していただきたい項目のみ記載しております。
記載方法の詳細は、国税庁ホームページ
『令和7年分　給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成の手引』をご確認ください。

住所欄

令和8年1月1日現在の（住民票上の）住所を記載してください。

（源泉）控除対象配偶者の有無・・・該当するときは○してください

有　欄　年末調整を受け、控除対象配偶者を有しているとき
老人欄　控除対象配偶者 または 源泉控除対象配偶者のいずれかの配偶者を有し、配偶者が昭和31年1月1日以前の生まれの場合

摘要欄

前職分の記載
前職分の給与等を通算して年末調整した場合、前職分の所在地、名称、支払金額、社会保険料等を記載してください。

租税条約に関する記載
課税の免除を受ける場合は、免除対象額と該当する条項を記載してください。

青色専従者に関する記載
「青専」と記載してください。

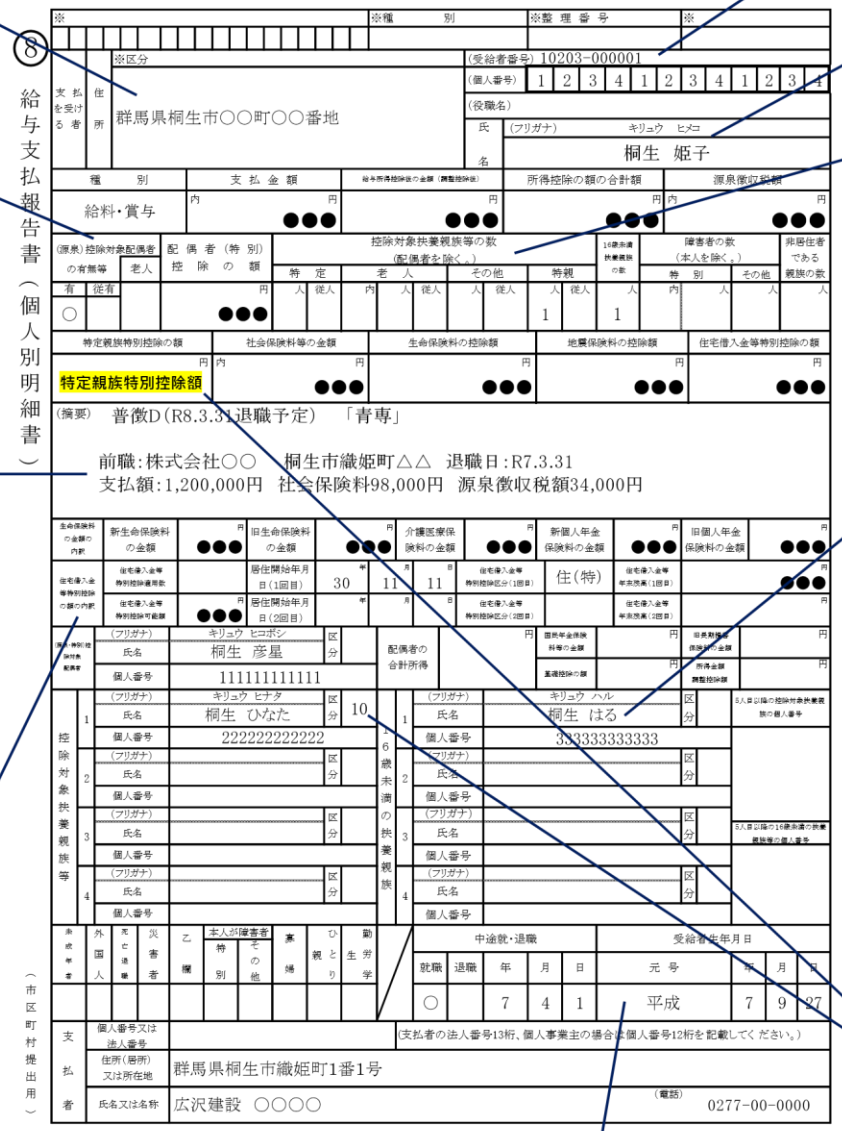
退職所得のある配偶者 または 扶養親族の記載
・配偶者や扶養親族が退職所得の支払いを受けた合計所得金額から退職所得の金額を除いた結果、配偶者(特別)控除・扶養控除等を受けることができる場合があります。「（退）氏名」と記載してください。

・障害者・特別障害者 または 同居特別障害者が同一生計配偶者（控除対象配偶者を除く）に該当する場合は、「氏名（同配）」と記入してください。

普通徴収の記載
普通徴収切替理由書の区分（普A～普F）を記載してください。

住宅借入金等特別控除

・特別控除可能額、居住開始年月日、特定取得に該当する場合は、その旨を記入してください。
・住宅借入金等の借換えをした場合は、借入金年末残高の計算方法を国税庁のホームページで確認してください。



受給者番号・個人番号欄

・給与支払報告書をeLTAXより提出し、納税義務者用の税額通知を電子データで受取希望の場合は、必ず記載してください。
・受給者の個人番号を正確に記入してください。

氏名・フリガナ欄

・戸籍名を正確に記入してください。
・外国籍の方は、在留カードの表記とおりに記入してください。

控除対象扶養親族等の数

・該当する人数を記入してください。
・受給者 または 受給者の配偶者の直系尊属で同居している場合は、左の「内」欄にその数を記入してください。

老　人　欄　70歳以上（昭和31年1月1日以前の生まれ）
特　定　欄　19歳以上23歳未満、合計所得金額が58万円以下
特　親　欄　19歳以上23歳未満、合計所得金額が58万円超123万円以下

16歳未満欄　16歳未満（平成22年1月2日以降生まれ）

控除対象扶養親族/16歳未満の扶養親族

・扶養親族等の氏名、個人番号を記入してください。
・控除対象扶養親族が非居住者である場合は、区分に応じて区分欄に「01～04」の数字を記入してください。

控除対象扶養親族	区分
居住者	空欄
非居住者　30歳未満 または 70歳以上	01
非居住者　留学生(30歳以上 または 70歳未満)	02
非居住者　障害者(30歳以上 または 70歳未満)	03
非居住者　38万円以上送金(30歳以上 または 70歳未満)	04

特定親族特別控除の適用を受ける場合

・特定親族の氏名、個人番号を記入してください。
・特定親族各人別の合計所得金額と居住実態に応じて、「特定親族特別控除額」と「区分」を記入してください。

合計所得金額		特定親族特別控除額	区分	
			特定親族が居住者	特定親族が非居住者
58万円超	85万円以下	63万円	10	11
85万円超	90万円以下	61万円	20	21
90万円超	95万円以下	51万円	30	31
95万円超	100万円以下	41万円	40	41
100万円超	105万円以下	31万円	50	51
105万円超	110万円以下	21万円	60	61
110万円超	115万円以下	11万円	70	71
115万円超	120万円以下	6万円	80	81
120万円超	123万円以下	3万円	90	91

生年月日は必ず記載してください。